

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)雲雀丘寮 第三期増築計画	階数	地上4F
建設地	宝塚市南ひばりガ丘・川西市南花屋敷	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	96 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年9月8日
敷地面積	12,465 m ²	作成者	株式会社ハウジングシステム 古山 明義
建築面積	1,066 m ²	確認日	2022年9月8日
延床面積	3,467 m ²	確認者	株式会社ハウジングシステム 古山 明義



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 増築部分のデザインは既存建物の意匠を踏襲し、統一感のあるデザインとした。		その他 特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆の建材を使用して室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 Gbitクラスのインターネットに対応し、劣化対策等級2相当のかぶり厚を確保した。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹を復元した。
LR1 エネルギー 高効率なLED照明を採用した。	LR2 資源・マテリアル パーティクルボードや再生木材などリサイクル材を使用することで、非再生材料の使用量削減に努めた。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインのチェックリストを一部満たす設計とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される